

第37回JC青年の船「とうかい号」 研修フロー(案)

★スタートアップ【研修①】

「とうかい号」の目的や基本的考え方を確実に把握し、取組姿勢を確立

到達点: **自分を見つめ直す**

★自分自身の「現在地」を見つめ直す

【研修②】

自らの存在意義、可能性、夢、家族・仲間・社会とのつながりなど「現在地」を素直に見つめる

★共に成長することの気づき【研修③】

他者理解の大切さを学びつつ、仲間や家族・社会とともに成長することの重要性を理解する

到達点: **「日本人の心」「先人への感謝・後世への思いやりの心」への気づき**

★先人の足跡を知る【研修④】

江戸時代や幕末などの歴史を知り、「武士道」をはじめとした日本人の精神文化・美徳を学ぶ

★「礼節」「感謝」「利他の心」の気づき【研修⑤】

海外から見た日本人の美徳や素晴らしさを具体的に聞き、特に青年が必要な部分について集中的に学ぶ

到達点: **「人生を歩む力」を「鍛える」**

★「人生を歩む力」の導入研修

【研修⑥】

「人生を歩む力」を身につけるためにも、特に「壁を乗り越える力」が重要であることを知る

★壁を乗り越える力の必要性を知る

【研修⑦】

壁を乗り越えた体験談や事例などを通じて、壁の乗り越え方やその時の精神について学ぶ

★壁を乗り越える力を鍛える実践演習

【研修⑧】

自分の人生は自分が決めるとの覚悟を持ち、自分の壁を乗り越える力の更なる向上へ挑戦

到達点:

- ①「夢」の実現に向けた出発
- ②達成のための「意欲」を持つ

★下船後の目標設定【研修⑨】

自らの夢を実現するためにクリアしなければならない目標を具体化する

★振り返り【研修⑩】

乗船中の自らの成果を確認し、改めて下船後の目標達成への意欲を向上させる

「夢」、「人生を歩む力」、
「先人への感謝・後世への思いやりの心」、「日本人の心」、
そして、生涯成長し続ける「意欲」をもった光輝く青年へ

青年は、単なる社会の構成員ではなく、それぞれの社会を支える責任がある

下船後も青年が成長し続けることで、それぞれの社会を明るく豊かにしていく